



著書・解説

1. K. Kondoh, J. Umeda, R. Soba, Y. Tanabe: Advanced TiNi shape memory alloy stents fabricated by a powder metallurgy route, Titanium in Medical and Dental Applications, Woodhead Publishing, 583-590, (2018).
2. 近藤勝義, 谷口幸典: 金属粉末の圧粉成形挙動, 塑性と加工, 58, 678, (2017)577-581.
3. 近藤勝義, 今井久志: 粉末冶金および押し出し加工を用いた高性能材料の創製, 塑性と加工, 56, 651, (2015), 32-36.
4. K. Kondoh: Titanium metal matrix composites by powder metallurgy (PM) routes, Titanium Powder Metallurgy, Elsevier, 277-298, (2015).
5. 近藤勝義: 興味津々の先にあるもの, SUGINO NEWS, No.178, (2014. 9)
6. 近藤勝義: 突線鈕式銅鐸破碎プロセスの金属工学的検討とその考古学的意義, 纏向学研究センター研究紀要「纏向学研究」, 2, (2014), 21-32.
7. 近藤勝義: 広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業, 生産と技術, 第66巻, 第2号, (2014), 129-131.
8. 近藤勝義, 梅田純子, 今井久志: カーボンナノチューブ・グラフェン分散技術の工業化と機能展開, S&T 出版, 分担執筆, (2014).
9. 三本嵩哲, 近藤勝義: ユビキタス軽元素を活用した純チタン粉末押出材における高強靱化機構の解明, チタン Vol.61 No.4, (2013.10.28), 36-41.
10. T. Jones, K. Kondoh, T. Mimoto, N. Nakanishi, and J. Umeda: The Development of a Ti-6Al-4V Alloy via Oxygen Solid Solution Strengthening for Aerospace and Defense Applications, Army Research Laboratory, ARL-TR-6394, (2013.03).
11. 近藤勝義: マグネシウム合金の先端的基盤技術とその応用展開, シーエムシー出版, 分担執筆, (2012.9).
12. K. Kondoh: POWDER METALLURGY, INTECH, Editor (2012.3).
13. T. L. Jones, J. P. Labukas, B. E. Placzankis, K. Kondoh: Ballistic and Corrosion Analysis of New Military - Grade Magnesium Alloys AMX602 and ZAXE1711 for Armor Applications, ARL-TR-5931, Army Research Laboratory, (2012.02).
14. 近藤勝義: 研究, 創造技術の歩みと展望 粉末材料・複合材料・ポーラス材料, 軽金属, 61, 11, 分担執筆, (2011), 678-683
15. 近藤勝義: 共創・協奏一産学連携成功のキーワード, アドスリー, 133-148, 分担執筆, (2011.7).
16. 近藤勝義: 粉末冶金便覧, 内田老鶴圃, 分担執筆, (2010.10).
17. 近藤勝義: 農業廃棄物からの資源・エネルギー回収を考える, サステナ, 14, 111-115, 分担執筆, (2010.1.20).
18. 近藤勝義, 金子貫太郎: 粉体加工を利用したミリ・マイクロ・ナノの階層的複合組織化とその応用, 究極のかたちをつくる一粉が織り成す次世代モノづくり, 日刊工業新聞社, 第4章4節, 224-233, 分担執筆, (2009.5.30).
19. T. Jones and K. Kondoh: Initial Evaluation of Advanced Powder Metallurgy Magnesium Alloys for Armor Development, Journal of Army Research Laboratory, ARL-TR-4828, (2009).
20. 近藤勝義: 粉末成形の基礎と素材製造プロセス 2.粉末の加工プロセスによる組織制御, 材料 57, 12, (2008.12.1), 1261-1265.
21. 近藤勝義: 単分散カーボンナノチューブによる金属基焼結材料の特性, アルトピア Vol38, No.8, (2008.8).
22. 近藤勝義: 金属との複合化におけるカーボンナノチューブの真の機能発現, ケミカルエンジニアリング, 53, 6 (2008.6.1), 65-71.



23. K. Kondoh: Nanoparticle Technology Handbook, ELSEVIER, 分担執筆, (2007), 220-222.
24. 近藤勝義: ナノパーティクルテクノロジーハンドブック, 日刊工業新聞社, (2006.4 初版).
25. K. Kondoh: More Over, Aluminum, The Japan Journal, Advancing Science, Vol.2, No.9, (2006).
26. 近藤勝義: 粉体プロセスによる高強靱性マグネシウム展伸材料, アルトピア, Vol36, No.2, (2006).
27. 金子貫太郎, 塩崎修司, 護法良憲, 秋田亨, 近藤勝義, 荻沼秀樹: 高強靱性マグネシウム合金の環境軽負荷型製造技術の開発”, 塑性と加工(日本塑性加工学会誌), 第 47 巻, 第 551 号,(2006), 49-52.
28. 金子貫太郎, 塩崎修司, 近藤勝義, 荻沼秀樹, 秋田亨: 高強靱性マグネシウム合金の環境軽負荷型製造技術の開発, までりあ, 第 45 巻, 第 1 号, (2006), 54-56.
29. 近藤勝義: マグネシウム合金皮膜の輸送車輛および福祉用具への活用, 工業材料, Vol.52, No.3, (2004).
30. 近藤勝義: 反復式塑性加工で実現する高強度 Mg 合金, 週間ナノテク, 産業タイムズ社, (2004.8.16).
31. 近藤勝義: 最先端テクノロジーが行く, AXIS, Vol.110, (株)アクシス, (2004).
32. 近藤勝義: 固相合成法による高機能性マグネシウム複合材料の開発, 工業材料, Vol.50, No.8, (2002).
33. 近藤勝義: アルミニウム粉末の直接窒化反応による AlN の生成, マテリアルインテグレーション, 7, (株)ティー・アイ・シー, (2001), 19-24.

その他

1. 米澤隆行: 学生奨励賞 修士 受賞報文「押出加工を用いた TiNi 粉末合金における高強度・高形状回復率の発現」, 塑性と加工, 55, 647, (2014), 1128-1129.
2. 三本嵩哲: 雑感 (Looking back on my school days without any plans), 軽金属, 64, (2014), 121-122.
3. 三本嵩哲: ユビキタス軽元素を活用した純チタン基材料の微細構造制御と高強靱化機構の解明, 大阪大学工業会誌 テクノネット No.563, (2014), 36-40.
4. 今井久志: 完全鉛フリー快削性黄銅合金粉末押出し材の開発, 塑性と加工, 第 51 巻, 第 599 号, (2010), 72-73.